

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 12 月 15 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

マヴィレット配合錠（消化器内科）【院外限定】

薬効： 抗ウイルス化学療法剤

申請理由： セログループ 1、2 の C 型慢性肝炎および代償性肝硬変に対して 8 週間または 12 週間の投与で 99% の著効率が得られる。腎機能低下患者にも投与可能である。

採用中止薬剤： なし

グリミクロン HA 錠 20mg（糖尿病センター）【院外限定】

薬効： スルホニルウレア系経口血糖降下剤

申請理由： 高齢の糖尿病患者の増加および低血糖リスクの問題からグリミクロン錠 40mg 0.5 錠の処方増加がある。グリミクロン HA 錠 20mg があれば、保険薬局での半錠の待ち時間が軽減できる。

採用中止薬剤： なし

カナリア配合錠（糖尿病センター）【院外限定】

薬効： 選択的 DPP-4 阻害剤/SGLT2 阻害剤 配合剤

申請理由： 国内初の DPP-4 阻害薬と SGLT2 阻害薬の 2 型糖尿病治療薬配合剤。作用機序が異なる 2 剤の併用により、血糖降下作用のいっそうの増強が見込める。配合剤で、2 剤による併用療法が簡便に行うことができ服薬回数も 1 日 1 回で済む。また薬剤費負担の軽減に繋がる。

採用中止薬剤： なし

ワントラム錠 100mg（整形外科）【院外限定】

薬効： 持続性がん疼痛・慢性疼痛治療剤

申請理由： 徐放性製剤。トラマールの服用回数が 1 日 4 回なのに対し、ワントラムは 1 日 1 回定時服用で終日鎮痛効果が持続。がん性疼痛では、徐放性製剤と即放性製剤を目的に応じて使い分けることで、より良好な疼痛管理が可能。

採用中止薬剤： なし

オキファスト注 10mg/50mg（総合内科）

薬効： 癌疼痛治療用注射剤

申請理由： オキシコドン注射製剤は、腎臓から排泄される代謝物に臨床的に有意な鎮痛活性がないため、腎機能障害のある患者ではモルヒネ注射液よりも有用性が高い。海外では世界 21 カ国で承認。日本では、日本緩和医療学会からの推奨薬剤。

採用中止薬剤： ジプレキサ 2.5mg

ダラザレックス点滴静注 100mg/400mg（血液疾患センター）

薬効： ヒト型抗 CD38 モノクローナル抗体

申請理由： CD38 を標的とする新規作用機序のモノクローナル抗体。造血器腫瘍の腫瘍細胞表面に発現する CD38 抗原に結合することにより、補体依存性細胞傷害（CDC）作用、抗体依存性細胞傷害（ADCC）作用、抗体依存性細胞貪食（ADCP）作用を介して抗腫瘍効果を示す。既存の治療法に抵抗性あるいは不適応の再発または難治性の多発性骨髄腫患者に使用。

採用中止薬剤： なし

② 区分変更医薬品

【患者限定】 → 【院外限定】

- ・ペラゾリン細粒 400mg（血液疾患センター）
- ・塩酸プロカルバジンカプセル 50mg（血液疾患センター）
- ・ベネット錠 17.5mg（血液疾患センター）

③ 新規採用再生医療等製品

テムセル®HS 注（血液疾患センター）

造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病（急性 GVHD）」を適応症

健康な成人から採取した骨髄液から分離し、拡大培養したヒト間葉系幹細胞（MSC）を静脈内に投与し、その細胞自体が有する能力を利用して疾病を治療するという製品。他家細胞であるにもかかわらず MSC 自体の免疫原性が弱いため、通常の医薬品と同様に、組織型等を合わせる事なく、必要とされる患者様に広く投与できる。

④ 治験

<19353 PD>

目的： 腎性貧血を合併した腹膜透析患者を対象とした、経口 molidustat の有効性および安全性を検討

治験デザイン： 非盲検、多施設共同試験

治験期間： 2018年1月～2019年11月

責任医師名： 西川 慶一郎 先生